

【フルミスト点鼻液の特徴と注意事項】

	フルミスト点鼻液 (両方の鼻の穴に液体を噴霧します)	皮下注射
種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種可能年齢	2～18歳	生後6ヶ月～
接種回数	1回	1～2回(年齢による)
予防効果	同等	
副反応	鼻炎、咽頭痛、発熱など	接種部位の腫れ、発熱など
注意点 (下記に詳細記載)	・妊婦・乳幼児のいる家庭 ・喘息の既往がある ・ゼラチンアレルギーのある方	



接種にかかる費用に関しては
お住まいの地域によって異な
ります。

●フルミスト点鼻薬の主な注意事項●

《妊婦や乳児のいる家庭》

点鼻タイプは生ワクチンであり、接種後しばらくは飛沫または接触によりワクチンウイルスが家族などにうつる可能性があります。ワクチン接種後1～2週間、妊婦・授乳婦や生後6ヶ月未満の乳児、重度の免疫不全者との接触は可能な限り避けてください。接触が避けられない場合は通常の注射タイプの接種をご検討ください。また、妊娠中の方はフルミストの接種はできません。

《喘息のある方》

喘息がある方は、点鼻タイプを接種することで喘息発作が起こる可能性があります。小児科学会でも喘息のあるお子様(特に幼児)は、注射タイプが推奨されています。

《ゼラチンアレルギーのある方》

点鼻タイプのワクチンには成分としてゼラチン(添加剤の精製ゼラチン)が含まれています。ゼラチン含有製剤又はゼラチン含有の食品に対して、ショック、アナフィラキシー(蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等)などの過敏症の既往のある方は注射タイプの接種をご検討ください。

その他、ご質問等ございましたらお問い合わせください。

鼻へ噴霧するタイプのインフルエンザワクチン
フルミスト[®]点鼻液を接種される方・
保護者の方へ

【監修】川崎医科大学 小児科学 特任教授 中野 貴司 先生

○ フルミスト点鼻液はこんなワクチンです

- 日本初となる、鼻へ噴霧するタイプのインフルエンザワクチンです。
- 鼻へ噴霧するため、針を刺す必要がありません。
- 2～18歳の方が対象です。
- フルミスト点鼻液のワクチン接種は、1回分で完了です。
(左右それぞれの鼻へワクチンを噴霧すれば、終わりです)
- フルミスト点鼻液を接種された方は、積極的に吸入(鼻ですする)する必要はありません。
- ワクチン接種後に、鼻水、鼻づまり、せき、のどの痛み、頭痛などの副反応が現れることがあります。まれに、ショックやアナフィラキシーなどの重大な副反応が現れることもあります。いつもと違う体調変化や異常を認めた場合は、速やかに医師にご連絡ください。



○ いつ頃からワクチンを接種すればいいの？

- インフルエンザは、例年12月～3月頃に流行し、1月～2月にピークを迎えることが多いので、12月中旬までにインフルエンザワクチンの接種を終えておくことが望まれます。



第一三共株式会社

○ フルミスト点鼻液 接種後の注意



- フルミスト点鼻液の接種後30分間は、ショック、アナフィラキシー（蕁麻疹、呼吸困難など）の急な副反応が起こることがあります。医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- 接種当日は、入浴しても差し支えありません。
- 接種当日は、いつも通りの生活をして構いませんが、激しい運動は避けましょう。
- 接種後に熱が出る場合があります。気になる場合は、医師にご相談ください。
(フルミストを接種したことを)
(医師に伝えてください)
- フルミスト点鼻液の接種後1～2週間は、重度の免疫不全者との密接な接触は避けてください。
- 医師が認めた場合は、フルミスト点鼻液と他のワクチンも同時に接種することができます。他のワクチン接種を希望される際は、医師にご相談ください。



医療機関名

第一三共株式会社